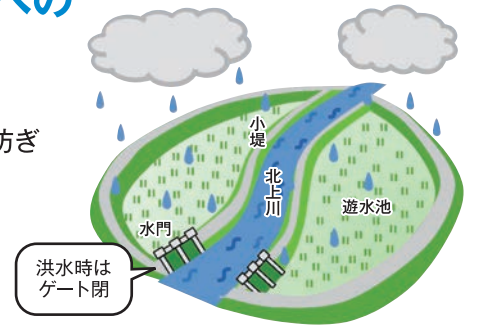


水門の目的

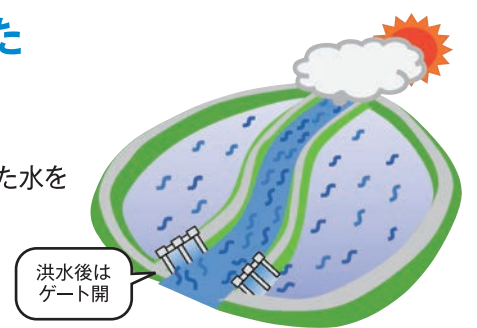
中小規模の洪水時に、
河川水の遊水地内への
流入を防止

小堤と連続することで
遊水地内に洪水が入ることを防ぎ
水田等を守ります！



洪水後は、
遊水地内に溜まった
水を排水

北上川の水位低下と連動して
ゲートを開き遊水地内に溜まった水を
速やかに排水します。



一関遊水地事業

大林水門



2014.09撮影



一関遊水地事業

- 事業着手年度 : 昭和47年度
- 周囲堤(本堤)延長 : 27,800m
- 小堤・管理堤延長 : 17,900m
- 管理用通路延長 : 14,900m
- 水門 : 3基



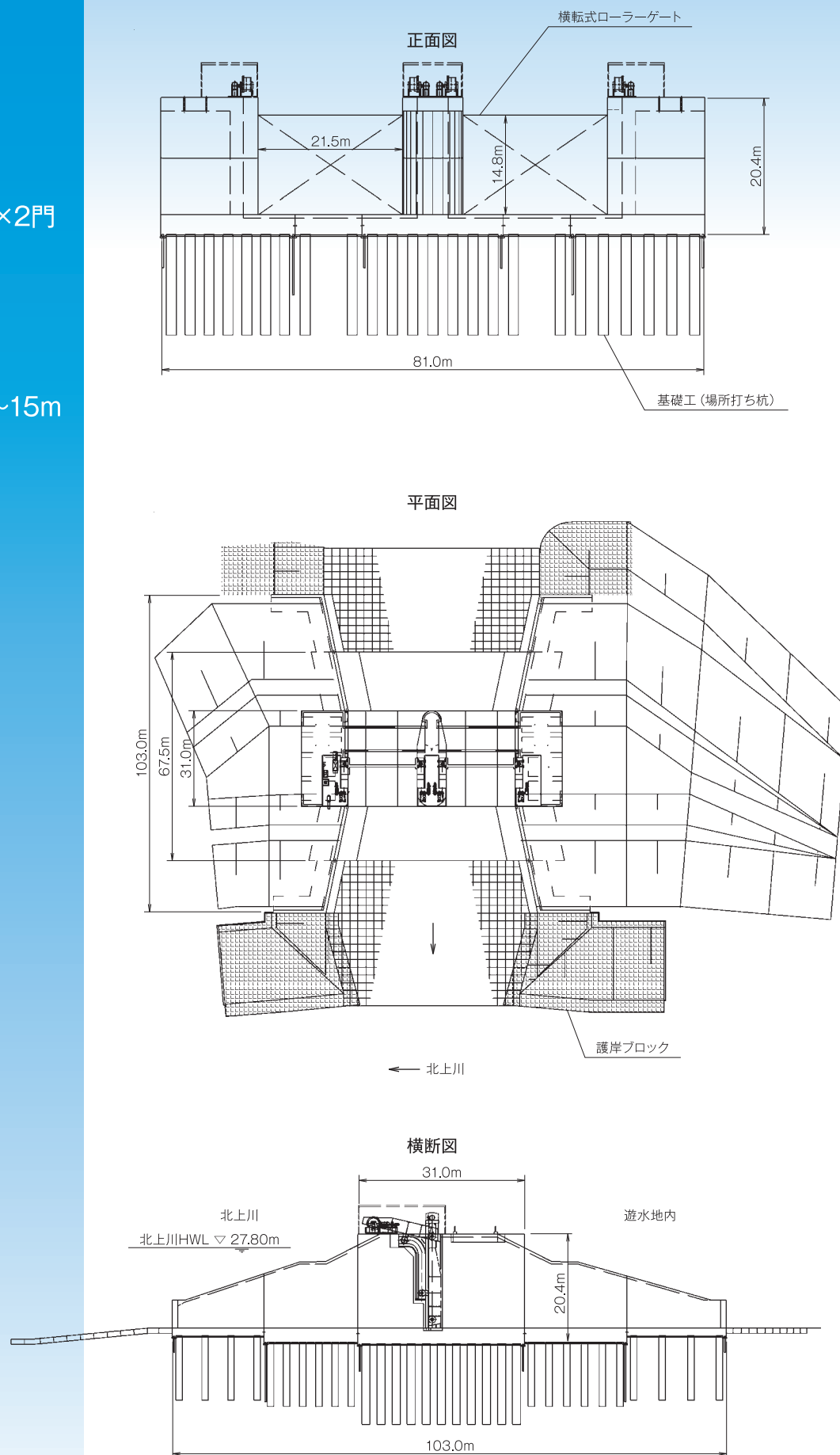
岩手河川国道事務所

<http://www.thr.mlit.go.jp/iwate/>

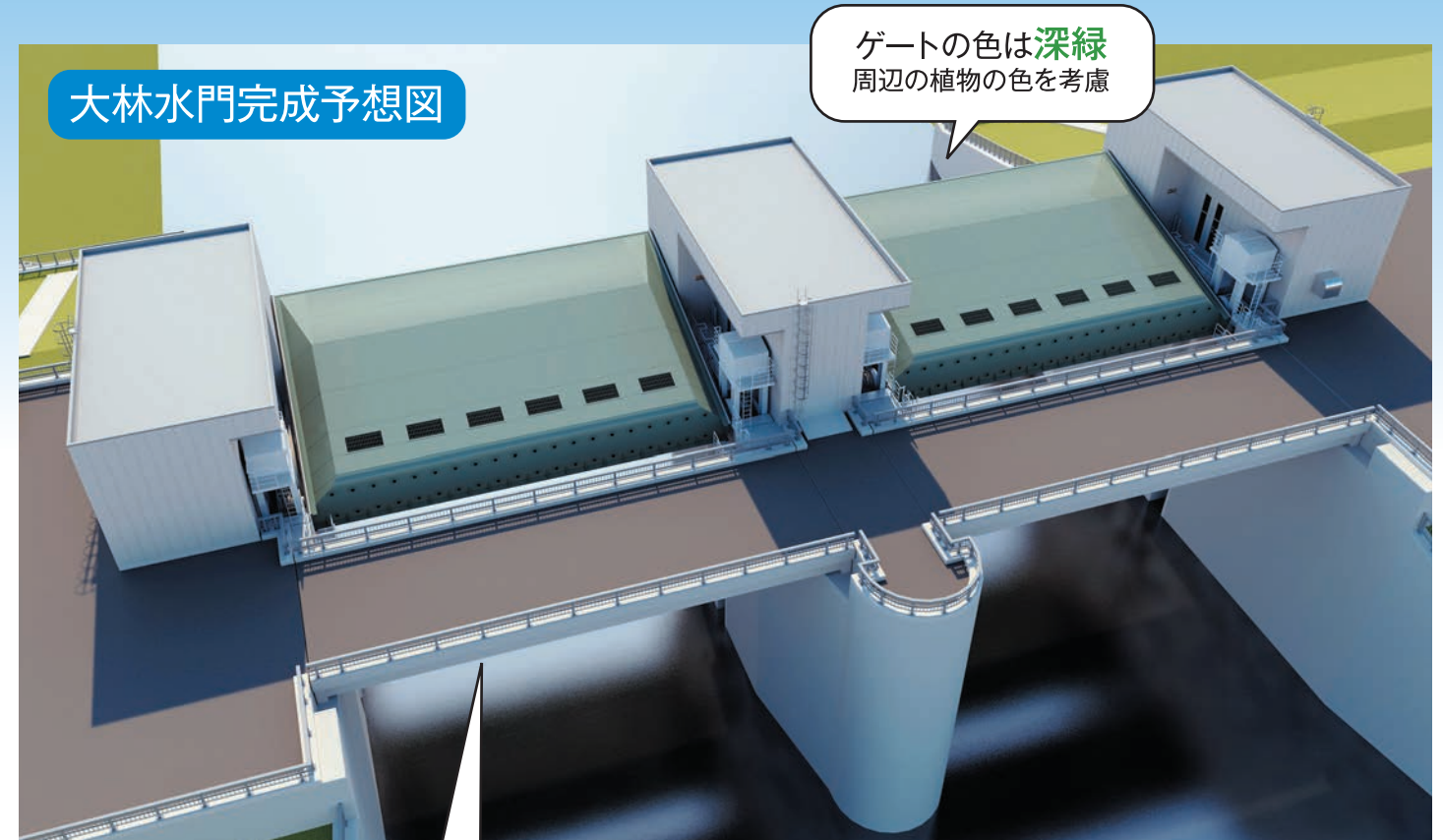
洪水時の水位情報は
こちらから

大林水門

- 設置箇所
第1遊水地
- 形式
横転式ローラーゲート
- ゲートサイズ
幅21.5m 高さ14.8m ×2門
- 本体コンクリート
約32,000m³
- 基礎工
場所打ち杭 約500本
径1.2~1.5m×長さ12~15m

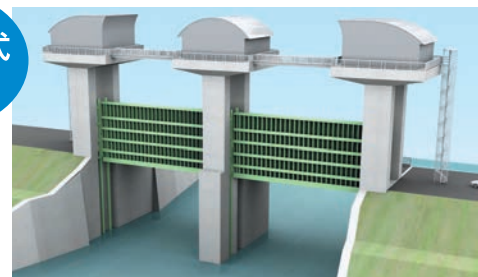


大林水門完成予想図

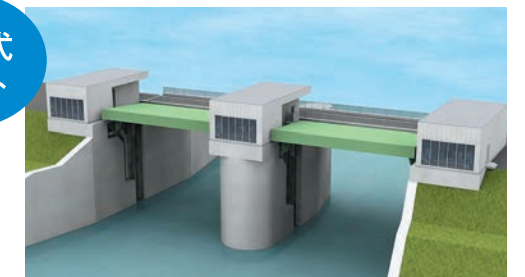


景観を考慮して門柱の無い横転式ローラーゲートを採用

直上げ式ゲート



横転式ゲート



景観に配慮したデザインで統一

一関遊水地内に設置される3水門のうち、第2遊水地長島水門が平泉町の風土景観地区に設置される。

このため対象地区外となる2水門も含め、遊水地全体での景観の統一を考慮している。

- 平泉町歴史景観地区
- 平泉町風土景観地区

